



## おはなしの世界に夢中

4月23日から5月12日までの「こどもの読書週間」にあわせて、5月6日にシーオーレ新宮で「おはなし会スペシャル」を開催しました。子どもたちが本に興味を持つきっかけになるよう毎年行っています。

図書館所属のボランティア団体マドレーヌによるパネルシアター、大型絵本の読みきかせ、わらべうたなど、いつもと違うおはなし会に子どもたちは夢中になって見入っていました。工作では、親子で一緒に紙コップで「アクロバティック発射台」を作り、最後はみんなで紙コップを打ち上げました。

参加した親子は「楽しかった。また参加したい」と笑顔で話していました。



▲マドレーヌによる大型絵本の読みきかせ

## 泥まみれの田植え体験



▲貴重な田植え体験ができました

5月31日に、立花小学校の5年生が田植え体験をしました。降っていた雨も田植えを始めるとすっかり上がり、田んぼの中にいる虫たちや泥の不思議な感触に歓声を上げる子どもたち。立花小おやじの会や、米作りボランティアのみなさんの指導のもと、一列に並び目印に沿って一束ずつ丁寧に苗を植えました。途中、バランスを崩して全身泥まみれになる子どももいましたが「助けてー」「足がはまっちゃったよー」と言いながらも田植えを楽しむ姿が見られました。

田植え体験後の質問タイムでは多くの挙手があり、時間が足りないほどでした。昔ながらの田植えの大変さを体験し、実際にお米を作っている人の話を聴くことで、食や農業への理解が深まるよいきっかけとなりました。秋の収穫が待ち遠しいです。

## 輝き再び！5年ぶりのほたるコンサート

6月4日、的野にある「ギャラリーみかみ」で野外ほたるコンサートが開催されました。新型コロナウイルスの影響により4年連続で中止を余儀なくされてきましたが、5年ぶりの開催に多くの参加がありました。

4組のアーティストによる歌唱・演奏が始まると、懐かしい曲に合わせて立ち上がり踊り出す人もいて、会場は大いに盛り上がっていました。だんだん暗くなってくると、ヒメボタルがチラホラ出始め、幻想的な光と心地よい音楽に、来場者は風情あるひと時を楽しんでいました。主催者の三上加代さんは、「誰でもいつでも立ち寄れる居場所をつくりたい」とボランティアで活動されていて「コロナで交流の機会が減ってしまった。ここでたくさんの人が出逢って、人と人とがつながるきっかけになれば。いつでも来てください」と笑顔で話されていました。



▲緑豊かな野外ステージに響き渡る歌声